

第3学年 学年通信

No.6 (通算No.32)

令和元年 7月19日 (金)

一步前に踏み出す力

凡事徹底・聴く

夏期補習 持参する物



講座名	持ち物
共通	筆記用具
センター現文・記述現文	指示した通り
センター古典	体系古典文法 (文法書)・新明説漢文 (パンダの本) 『古典センター試験国語過去問題 平成22～31年』
記述古典	体系古典文法 (文法書)・新明説漢文 (パンダの本) プリントで実施
数学	指示した通り
英語	辞書
化学	指示した通り
物理演習	指示した通り
原子物理	授業と同じ
生物	授業と同じ
1・2組生物基礎	教科書
地歴公民	授業と同じ

* 7/25 (木) の化学・8/1 (水) の生物基礎は306

～苦しいときは上り坂～

この夏の勉強について、教科担当よりメッセージです。

国語

- ・漢字、語句、古文単語、漢文句形は確かな得点源。特にセンターで出題される漢字は「同音異字」がポイントなので出題される漢字も限られてきます。頻出漢字や単語は隙間時間を利用して攻略してください。
- ・センターも記述も問題演習を繰り返しましょう。大事なのは解答後、解説を隅々まで「読んで理解する」こと。解説が詳しく論理的に説明しているものを選ぶとよいでしょう。
- ・問題演習は1日1題（現代文、古文、漢文の各分野ごと）が理想ですが、無理なら2日1題を目標に解答してみましょう。



数学

- ・夏にすべきはとにかく基本事項の徹底。例えば平方完成からの最大・最小を求める考え方は様々な場面で使える汎用性の高い考え方です。基本的な事項を色々な場面で使えるよう、教科書や参考書で漏れなく押さえましょう。（分野ごとにするのがオススメ！）
- ・2次を意識する人は基本事項の証明や成立する根拠等の「そもそも論」も重視しましょう。問題を解く切り口やヒントを生み出すストックになります。また「この公式はこんな場面に使える」「この問題のポイントは～」のように人に説明するつもりで整理していくのも有効です。

英語

- ・一日一題長文読解。国公私立とも入試問題の大部分は読解。解いた長文は音読。
- ・読解に出てきた単語は別の文章でもまた出てくる。覚えまくる。
- ・本番で読解に時間をかけるために、文法は秒で答えられるように夏中に完成させる。これから押さえるべきは語法。
- ・リスニングは youtube やアプリで、着替えながら、歯を磨きながらでも聞ける。聞かないと聞こえるようにはならない。

地歴

- ・教科書の通読2周、参考書の通読1周。
- ・志望校の過去問を解く → 間違えた単元を参考書で確認 → もう一度解く、を繰り返す。

公民

- ・地歴と同じ + 授業で扱わなかった単元や予習を各自でどんどんやっっていこう。

物理

- ・力学、熱、波動、電気（コンデンサーまで）の問題演習を夏中に済ませておく。秋に振り返る時間はありません。

物理基礎

- ・模試のやり直しおよび不明点の見直し。センターの問題集を購入してやるのもいい。

化学

- ・一学期既習範囲は、有機化合物分野の問題を考察するうえでの基礎内容です。教科書に次々と登場する化合物の構造式や名称は書けるように。分子構造の中で反応性の高い部分（官能基など）に注目し、反応を追いかけていこう。有機化合物の推定に関する問題は頻出。時間を確保して取り組もう。
- ・化学変化するには反応物どうしの相性がある。反応物の立場を読みとり、反応を理解しよう。
- ・無機物質では、周期表の族番号每など、グループで紹介されているので、まとめ作業を行い記憶に残そう。単体、化合物の性質、製法、用途、反応式など知識問題として頻出。
- ・2年で既習の理論分野は、セミナー問題集での段階的な復習や、模試振り返り、入試実践問題などにも挑戦していこう。

化学基礎

- ・「チェック&演習 化学基礎」や「セミナー化学基礎」の問題を解いていこう。

生物・生物基礎

- ・セミナーと模試のやり直し。これにつきる。

